

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【泰平小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」算数「図形」 <指導上の課題> 定着に個人差がある。個に応じた指導や繰り返し学習の時間の確保が必要である。	⇒ 国語・算数のモジュールの時間を各30回程度設定し、個に応じて「学習ソフト」や書き込み式ドリル等を用いて、繰り返し学習に取り組む。【週に2回】 何ができたのか、どうしてできたのかなど、児童が自らの学びを振り返ることができるようになる。また、振り返りの中で、主語と述語を意識させる活動を継続していく。【毎時間】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語の「読むこと」算数「変化と関係」 【指導上の課題】 意図的に思考力を深められるような学習活動が少ない。「わかる・できる喜び」を味わえるような、児童主体の授業展開が少ない。	⇒ 学校課題研修との関連を回りながら、直接的な指導とICTの活用を効果的に組み合わせた授業を展開する。また、児童が自らの考えを主体的に発表する機会を意図的に増やしていく。【毎時間】 学びのポイント「し・しゃく」を意識した児童主体の授業を行うために、自ら課題を設定し、解決するなどの探求的な学びを展開する。【学年の実態や単元に応じ学期に1回程度】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)